

本音で語ろう！「女性が輝く社会」

社会のあらゆる分野における意思決定の過程に女性が参画することや、女性が有する能力を最大限に発揮できるようにすることは大切で、女性の登用推進に数値目標をもって取り組んでいる企業等も多くなりました。今回は、内閣府より講師をお招きし、政府が取り組んでいる女性の活躍推進政策全般について学ぶとともに、参加者同士の交流や意見交換をとおり、男女平等参画社会に向けて考え合おうと、『本音で語ろう！「女性が輝く社会」』を開催しました。

開催日時：2015年1月27日（火）13：30～16：30
 会場：中野区産業振興センター 地下多目的ホール
 主催：中野区男女共同参画センター
 東京都生協連男女平等参画推進連絡会
 参加人数：58名



司会：中井さん



開会挨拶
海老沢 憲一氏

少子高齢化が進む中で、女性がイキイキと活躍する社会を目指して変わっていくことが、今まで以上にクローズアップされていく。女性が活躍しやすい法制度をどう変えていくか…また、意識・カルチャーを変えていくことも考えていく必要がある。本日は、酒井さんの講演と、後半のワールド・カフェでの意見交換をとおり、男女共同参画について考えましょう。

- 13：30 開会挨拶：海老沢 憲一氏
（中野区政策室企画担当副参事）
- 13：35 講演：酒井 香世子氏
- 14：30 （休憩）
- 14：40 ワールド・カフェ：東 浩司氏
- 16：30 閉会挨拶：野々山 理恵子氏
（男女平等参画推進連絡会副座長）



第1部 講演「女性の活躍推進について」 講師 酒井 香世子氏



内閣府男女共同参画局総務課政策企画調査官

《男女共同参画社会とは》

職場や家庭、地域生活のいろいろな場面で能力・個性を發揮して豊かな人生を歩みたい。

男女共同参画社会とは「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」（男女共同参画社会基本法第2条）、と定義されている。

男女が社会に「共同参画」していくことで、よりよい社会にしていこうという考えがこの言葉にあらわれさせている。

*クイズ…国会議員（衆議院）、民間企業における課長相当職以上に占める女性の割合 ○ %？



「2020年までに30%程度」とする目標を設定しているが、現状はまだまだ低い。

こたえ：8%（平成25年度）

《男女共同参画社会基本法と基本計画》

男女共同参画社会を実現させるため、平成11年に「男女共同参画社会基本法」が施行。この法律では、国・地方公共団体・国民の役割が明確に定められている。

この法律に基づき、国は基本計画を策定（5年間の計画）。「第3次男女共同参画社会基本計画」は、15の重点分野とそれぞれのアクションプランとして成果目標を設定。重点分野は、経済社会情勢の変化等に対応して、「貧困などの生活上の困難に直面する男女」など5つを新設した。

「第3次男女共同参画社会基本計画」は、平成22年に閣議決定し、今年5年に1回の大きな見直しの時期をむかえている。

次の「第4次男女共同参画社会基本計画」の最終年は、2020年（平成32年）。

女性が指導的地位に占める割合を30%程度にする目標に向けた取り組みのゴールの年でもある。



なぜ女性の活躍が重要か？

《政府の最近の動きと取組の成果》

日本再興戦略の推進

女性の非労働人口のうち、就業を希望しても働けない人が315万人（平成25年）いる。少子高齢化で人口減少が進む中で、潜在的な力を眠らせているのではないか。労働人口の増加・優秀な人材を確保することは、新しい経済成長に結びつく。

「指導的地位に占める女性の割合を30%程度」「女性就業率73%（25歳～44歳）」という成果目標を定め、その実現のために、企業に対して支援や税制優遇・制度の見直し・子育て支援等の環境整備をすすめている。

直近の動向

すべての女性が輝く
社会づくり本部を設置

すべての女性が輝く
政策パッケージを発表

女性の活躍推進に
向けた新たな
法的枠組みの構築



- 内閣府男女共同参画局ホームページ
- 内閣府男女共同参画 Facebook
- 男女共同参画局メールマガジン

<http://www.gender.go.jp/>

<http://www.facebook.com/danjokyodosankaku/>

<http://www.gender.go.jp/magazine/index.html>



第2部 ワールド・カフェ

ファシリテーター 東 浩司 氏

NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事



『ワールド・カフェ』とは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中、少人数で『問い』をもとに自由な対話を行い（結論を出すことを目的にしません）、メンバーの組み合わせを変えながら対話を続け、互いに気づきや学びを高める手法です。今回は、東さんの楽しい進行で「脳の体操」（アイスブレイキング）でリラックスした後「女性が輝く社会」についてざっくばらんに話し合いました。

Round1 問い「女性は輝いていますか！」

おもな声

- ・自分の役割が評価されると輝ける
- ・仕事でなくても輝ける！主婦でも輝く！
- ・介護と仕事の両立でボロボロ など



「話す」は「舌」で話す。
「語る」は「吾」を語る。
相手に一番伝わる、
「吾」を語りましょう！

Round2 問い「女性が輝く社会になるために私ができることは何？」

おもな声

- ・同じ職場の仲間どうして助け合う
- ・男性が家庭に入ることを応援、多様性を認める
- ・貧困家庭を支援 など

＜現状働く女性は…＞
仕事・育児・家事の三重苦
＜打破するカギは…＞
①男の「家事進出」
②上司が「イクボス」になって働き方を変える



Round3 感じたこと、気づいたこと、学んだこと

おもな声

- ・男性、女性ともに輝くことが輝き！
- ・ポジティブにとらえることで前向きに輝く
- ・自分らしくいられることが大切 など



まずは自分が太陽になろう！
周りを暗いと嘆くのではなく、
自分が太陽になって輝き
周りの人と照らし合う



閉会挨拶
野々山 理恵子氏

《 アンケートより抜粋 》（アンケート提出38枚）

- ・知りたいデータが全て盛り込まれていたのがありがたかった。
- ・社会全体の方向性、現状認識ができた。
- ・男性側にも改革を行わなければと感じた。
- ・ワールド・カフェは、いろんな方の考え方、生き方にふれることができ、楽しかった。
- ・自分の生き方が楽しかったんだと、振り返ることができた。 など